



野猿公苑跡地(犬山市栗栖)の有効活用に関する請願書

犬山市議会議長

堀江 正栄 様



紹介議員 議員名

山田 拓司
水野 正光

趣旨

昭和30年代に名古屋鉄道(株)が観光開発して野猿公苑関連の施設が出来年間20万人以上の観光客が訪れる当時では犬山市最大の観光地でした。公苑が移設して約20年になるが、今まで何度か有効活用の試案がでたが、実現していない。自然と調和した活用方法が望まれる。市民や県民に喜ばれる施設にしたい。今、犬山市周辺の観光開発のチャンスである。(詳細は別紙1参照)

理由

風光明媚な景勝地「日本ライン」を含む飛騨木曾川国定公園の中にあつて桃太郎公園、神社の入口に有り管理がされてなく、雑木や雑草が生え火災の危険が有り又美観をそこね、観光客から不評である。また移転後観光客が激減して、営業店舗数が半減以下になって商店街が衰退しました。(詳細は別紙2参照)

請願事項

- 1、名鉄(株)より野猿公苑跡地を犬山市に借用するよう図る事
- 2、行政の支援を受ける事

提出

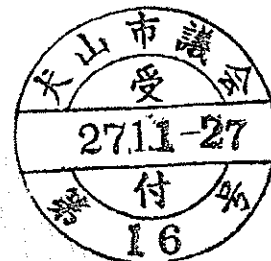
平成27年11月27日

請願者 代表者

栗栖 桃太郎発展会 会長

氏名

外 26 名



趣旨

経緯

松山市長の時、野猿公苑がモンキーパークに移転することが決まり、その跡地の利用を名古屋鉄道(株)、犬山市、栗栖 桃太郎発展会の三者で話し合いが持たれた。その結果、犬山市が管理する事で合意され名古屋鉄道(株)との窓口は犬山市がする事に決まった。

その後、石田市長の時ドックラン建設が具体的になったが頓挫した。

また田中市長の時、鶴の施設建設が提案されたが日当たりが悪く、不向きとの結論で現在に至っている。

一時ごみ捨て場と化したのが、発展会有志の力で現状に至っている。しかし発展会員の高齢化と会員減でこれ以上は無理で行政の力を借りたい。

跡地有効利用案

- 1、桜、もみじが中心となる花の公園にする。
- 2、駐車場にする。
- 3、その他

考察

駐車場は不足しているが、それを見に来る観光客はいない。また駐車場増設であれば別の場所がある。また多くの発展会員は1案を支持している。そして1案以外低コストで建設できる妙案は考えつかない。

試行

「桜の植樹」

すでに公益団体による植樹がされており、成長している。またソメイヨシノの育成も成果が出ている。

「もみじ」

山の間中部に自生のもみじが生育しており、葛などのつるを管理すれば植樹の必要はない。

「そのほかの花」

・山野草

自生のものもあるが、とくにきれいな九輪草の実験栽培が成功している。

・菜の花

桜と良く合いすでに実験栽培が成功している。

・ゆり

カサブランカの栽培が成功しており、特定種のみで他と差別化できる。

・コスモス

きばなコスモスと三色コスモスの実験栽培が成功している。

・水仙

平地には増殖された水仙があり、山の中間部に移植すれば冬の観光資源になる。

・花木

野猿公苑の時代に植えられた椿、山茶花、きんもくせい、茶など剪定すればきれいに成る。

最小工事

・トイレの改修

簡易水道から市の水道に切り替え時、変換工事がなされていないので水が使えない。但し下水は使用できる。

栗栖園地(河川敷)に年間約15000名の利用があり、トイレが北部しかなく南部に設置の要望が出ている。

・フェンスの再塗装

ペンキが剥げて美観を損ねている。また老朽化も進み危険性も発生する。

花壇、階段の補修、山への通路などの工事は予算が付いた時実施する。

運営管理案

市から助成金を頂くとありがたいが、昨今の財政状況をみると無理も言えない。

最小の有料パーベキューサイトを設置してそこから財源を捻出する。管理はシルバーセンター等に委託する。

理由「観光地として」

風光明媚な景勝地「日本ライン」を含む飛騨木曾川国定公園の中に桃太郎公園、神社はある。今観光庁も出来、政府は物づくりだけでなく観光にも力を入れている。愛知県の中でも観光については先進市の犬山市がこの地の観光資源を有効に利用しないことは大きな損失となる。

野猿公苑跡地の後方にはきれいな大平山がそびえている。その前が管理されてなく、雑木や雑草が生え火災の危険が有るようでは嘆かわしい。

美観をそこね、観光客から不評である。約20年間この地が有効に使用されなかったことが観光客激減の一因と考えられる。その結果営業店舗数が半減以下になって商店街が衰退した。

商店街活性化には、早急の跡地有効利用が望まれる。

このままの状態では、後継者が希望を持たず犬山遊園駅周辺川沿いのように商店街は衰退して消滅するだろう。そうなる前に、早急に具体案作成が切望される。

「桃太郎地区として」

跡地は桃太郎公園、栗栖園地、駐車場、桃太郎神社など一帯で考える必要がある。栗栖園地は愛知県民が80%利用しているので、県からの助成の増額が望まれる。

また、すでにある花しょうぶ園や、お寺のあじさいなど栗栖地区で「花の里」を目指すのも一案である。

花がいっぱい咲いている里山が国定公園にはふさわしいと思われる。